

一般

段級

【奥の細道】
 おっしやっていたことがある。その歌を書いた跡を見ようと、杖をつけて雲巖寺に
 まで出かけたが、人々が一緒に行こうと誘い合い、若い人も多くて賑やかに道を
 進んでいた

いざなひ、若き人多く道の程打ち騒ぎて
 と、雲^{うん}岸^{がん}寺^じに杖^{つえ}を曳^ひけば、人々進^{止まると右折い}んで共^{止まると右折い}に
 はべりといつぞや聞^{その}こえ給^{あと}ふ。其^{その}跡^{あと}みむ

